



## 平成29年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年9月2日

上場取引所 東

上場会社名 モロゾフ株式会社

コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 信二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 山岡 祥記

TEL 078-822-5000

四半期報告書提出予定日 平成28年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第2四半期の業績(平成28年2月1日～平成28年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第2四半期	13,901	3.1	960	110.6	1,023	82.5	637	84.0
28年1月期第2四半期	13,477	1.7	455	21.8	561	21.0	346	32.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第2四半期	17.70	—
28年1月期第2四半期	9.56	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
29年1月期第2四半期	20,597		13,486		65.5
28年1月期	21,544		13,080		60.7

(参考)自己資本 29年1月期第2四半期 13,486百万円 28年1月期 13,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年1月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年1月期の業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,850	0.6	1,640	32.8	1,700	27.1	1,000	30.7	27.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期2Q	36,692,267 株	28年1月期	36,692,267 株
29年1月期2Q	750,418 株	28年1月期	513,459 株
29年1月期2Q	36,001,483 株	28年1月期2Q	36,226,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	8
販売実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引き上げは延期されたものの、中国をはじめとした新興国経済の減速や英国のEU離脱問題による株式市場の伸び悩みや円高の進行などの影響もあり、企業の景況感や個人消費は力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は企業スローガン『こころつなが。笑顔かがやく。』を掲げ、お菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、バレンタインデー、ホワイトデーが新規ブランドの展開などにより好調であったことや、焼菓子や半生菓子が引き続き好調に推移したことにより、当第2四半期累計期間の売上高は13,901百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

損益面におきましては、円高や市況の軟化によるナッツ類などの原料価格の下落や生産性の向上により売上原価率が改善したことに加え、経費削減の効果もあり、営業利益は960百万円(前年同期比110.6%増)、経常利益は1,023百万円(前年同期比82.5%増)、四半期純利益は637百万円(前年同期比84.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタインデーやホワイトデーをはじめとするイベント商戦の好調に加え、「フェアージュ」などの焼菓子や夏季商品が堅調に推移したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。洋生菓子につきましては、プリンキャンペーンの実施や素材をいかした期間限定プリンの発売などによりチルドデザートが好調に推移したことに加え、平成27年9月にリニューアルした半生菓子「ブロードランド」が好調を維持したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は13,068百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

## [喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、店舗の改装、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、一部店舗の退店に伴う売上減少の影響もあり、売上高は833百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ946百万円減少し、20,597百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額1,233百万円、有価証券の増加額801百万円、仕掛品の増加額739百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,382百万円、商品及び製品の減少額1,359百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,352百万円減少し、7,111百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加額166百万円、電子記録債務の減少額842百万円、支払手形及び買掛金の減少額162百万円、短期借入金の減少額134百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ406百万円増加し、13,486百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額492百万円、自己株式の取得による減少額99百万円等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ443百万円増加し、当第2四半期会計期間末には1,583百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、税引前四半期純利益の計上、仕入債務の減少、たな卸資産の減少等により、2,707百万円の収入(前年同四半期累計期間は2,871百万円の収入)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得・売却及び償還による純支出、定期預金の預入による支出、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、1,885百万円の支出(前年同四半期累計期間は1,851百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、長期借入金の返済による支出、自己株式の増加により、379百万円の支出(前年同四半期累計期間は299百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月29日に発表いたしました平成29年1月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	739,377	1,973,059
受取手形及び売掛金	5,687,440	3,304,659
有価証券	2,100,532	2,902,527
商品及び製品	2,093,019	733,992
仕掛品	278,002	1,017,110
原材料及び貯蔵品	431,203	412,788
その他	249,205	301,767
貸倒引当金	△22,400	△13,190
流動資産合計	11,556,381	10,632,714
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,312,889	2,258,443
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	1,526,790	1,528,254
有形固定資産合計	7,074,018	7,021,036
無形固定資産	98,641	126,133
投資その他の資産		
投資有価証券	2,059,308	2,014,728
その他	755,766	803,169
貸倒引当金	△100	△10
投資その他の資産合計	2,814,975	2,817,887
固定資産合計	9,987,635	9,965,058
資産合計	21,544,017	20,597,772

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,384,920	1,222,153
電子記録債務	1,855,373	1,012,851
短期借入金	2,133,800	1,999,600
未払法人税等	246,025	412,170
賞与引当金	224,320	227,310
その他	1,809,779	1,462,443
流動負債合計	7,654,219	6,336,528
固定負債		
退職給付引当金	370,366	346,085
環境対策引当金	7,236	7,236
その他	432,137	421,388
固定負債合計	809,740	774,710
負債合計	8,463,959	7,111,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,429	3,921,497
利益剰余金	4,785,030	5,277,383
自己株式	△143,557	△243,165
株主資本合計	12,300,369	12,693,183
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	500,421	503,211
土地再評価差額金	279,266	290,138
評価・換算差額等合計	779,688	793,350
純資産合計	13,080,057	13,486,533
負債純資産合計	21,544,017	20,597,772

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
売上高	13,477,905	13,901,378
売上原価	7,188,236	7,143,835
売上総利益	6,289,668	6,757,542
販売費及び一般管理費	5,833,910	5,797,533
営業利益	455,757	960,009
営業外収益		
受取利息	1,295	1,318
受取配当金	28,704	25,863
利用分量配当金	71,707	32,170
その他	27,703	25,863
営業外収益合計	129,410	85,217
営業外費用		
支払利息	18,652	16,107
その他	5,310	5,173
営業外費用合計	23,963	21,281
経常利益	561,204	1,023,945
特別利益		
固定資産売却益	—	6
投資有価証券売却益	—	6,686
退職給付制度改定益	30,808	—
特別利益合計	30,808	6,693
特別損失		
固定資産除売却損	10,950	7,077
減損損失	—	3,347
特別損失合計	10,950	10,425
税引前四半期純利益	581,061	1,020,213
法人税、住民税及び事業税	183,007	377,543
法人税等調整額	51,787	5,601
法人税等合計	234,795	383,144
四半期純利益	346,266	637,068



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	581,061	1,020,213
減価償却費	346,580	322,066
減損損失	—	3,347
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,300	2,990
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△143,103	△24,281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,400	△9,300
支払利息	18,652	16,107
受取利息及び受取配当金	△30,000	△27,182
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,686
固定資産除売却損益(△は益)	10,950	7,070
売上債権の増減額(△は増加)	2,384,267	2,382,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	793,528	638,334
仕入債務の増減額(△は減少)	△670,724	△1,005,289
その他	△150,790	△394,063
小計	3,123,723	2,926,109
利息及び配当金の受取額	29,259	26,214
利息の支払額	△18,199	△15,773
法人税等の支払額	△263,563	△228,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,871,219	2,707,849
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400,000	△490,000
有価証券の取得による支出	△2,399,663	△2,003,693
有価証券の売却及び償還による収入	1,199,964	899,958
有形及び無形固定資産の取得による支出	△232,839	△282,416
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	7
投資有価証券の取得による支出	△2,595	△2,587
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	44,721
その他	△16,383	△51,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,851,517	△1,885,280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△134,200	△134,200
リース債務の返済による支出	△18,300	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△2,325	△101,013
配当金の支払額	△144,275	△144,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,101	△379,261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	720,600	443,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,058,634	1,140,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,779,234	1,583,396

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年3月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式235,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取請求等による増加1,959株を加えて、当第2四半期累計期間において、自己株式が99百万円増加しております。

## 4. 補足情報

## 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年7月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	13,068,012	103.7
(内訳)		
干菓子群 (千円)	9,771,658	102.9
洋生菓子群 (千円)	2,855,986	106.5
その他菓子群 (千円)	440,367	103.8
喫茶・レストラン事業計 (千円)	833,365	94.7
合計 (千円)	13,901,378	103.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) サマーロイヤルタイム、サマーイング、ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。